

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先	
092045.佐野市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	子どもたちと地域(住民・資源)との交流の機会が減り、ボランティア数も減っている。	学校支援ボランティアの活動などの学校と地域の連携が円滑に進められるよう、市内2校に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置した。	学校支援ボランティアの活動などの学校と地域の連携が円滑に進められるよう、市内11校(継続2校、新規9校)に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置する。	子どもたちと地域住民が交流する機会が増加する。	学校地域応援団を設置した学校の学校支援ボランティア活動人数	809	人	880	883	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	既に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置している2校に加え、本年度、新たにコミュニティ・スクールを導入した9校に学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置した。地域住民に対し、地域学校協働活動への参画を呼びかけ、学校支援ボランティアを目標どおり確保することができた。7年度においても、新たに学校地域応援団(地域学校協働本部)を設置する予定であるため、引き続き、地域住民に対し、地域学校協働活動への参画を呼びかけていく。	https://www.city.sano.lg.jp/sosh/kiichiran/kvouiku/shogaigakushuka/gyomuannai/syakaikouiku/23214.html
092045.佐野市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	学校以外の場で、体験活動や地域を知る活動など多様な体験活動を行う機会が減少している。	放課後子ども教室を週1回程度実施し、地域資源(もの・歴史・お年寄りの経験等)を活用した多様な体験活動を実施している。	放課後子ども教室を週1回程度実施し、地域資源(もの・歴史・お年寄りの経験等)を活用した多様な体験活動を実施する。また、体験活動について、各放課後子ども教室において交流研修会を開催し、ノウハウを共有することで、活動の充実を図る。	地域に愛着を持つ子どもが増える。子どもたちと地域のつながりが強化される。	放課後子ども教室の活動に参加し、地域に興味を持った子どもの割合(参加児童のアンケート)	79	%	70	71	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。	化石磨き体験やクリケット体験、天明鋳物を使用したページ体験など、地域資源を生かした体験活動を取り入れたことで、多くの児童が地域に愛着を持ってくれた。今後も各教室のコーディネーターや関係各所と連携し、多様な体験活動を提供できる環境を整えていく。	https://www.city.sano.lg.jp/sosh/kiichiran/kvouiku/shogaigakushuka/gyomuannai/syakaikouiku/23214.html